

世田谷区民意識調査2022

(概要版)

(令和4年5月実施)

区民意識調査概要版は、令和4年5月に実施した「世田谷区民意識調査2022」を要約したもので、広く区民の方にその内容を知っていただくために作成しました。

今回の調査は、「定住性」「職員応対」など経年的な変化を把握するための調査項目に加え、「区の基本計画」「認知症」「新型コロナウイルス感染症」などに関する項目を調査対象といたしました。

これらの調査結果については、区政を推進するための基礎資料として活用してまいります。

また、詳しく知りたい方は、世田谷区の区政情報センター、区政情報コーナー、区立図書館、区のホームページで「世田谷区民意識調査2022」をご覧ください。

調査の概要

対象者 世田谷区在住の満18歳以上の男女
対象数 4,000人
(内訳/日本国籍3,901人、外国籍99人)
抽出方法 層化二段無作為抽出法
調査方法 郵送配布・回収またはインターネットによる回答
調査期間 令和4年5月19日～6月2日
有効回収数 1,923人
(内訳/日本国籍1,896人、外国籍27人)
有効回収率 48.1%
(内訳/郵送回収1,300通・67.6%、
インターネット回収623通・32.4%)

※過去に同様の調査を行っている項目については、直近のデータを記載しています。

回答者の属性

- 1 定住性
- 2 区政
- 3 区の基本計画
- 4 職員応対
- 5 ふるさと納税
- 6 福祉と医療
- 7 認知症
- 8 悩みや不安の相談先
- 9 障害者を支える取り組み
- 10 子育て・子どもを取り巻く環境
- 11 地域コミュニティ
- 12 公共施設
- 13 災害時の備え
- 14 男女共同参画の推進
- 15 多文化共生
- 16 文化活動
- 17 スポーツ
- 18 たばこマナー
- 19 農業
- 20 公園
- 21 区道の舗装
- 22 新型コロナウイルス感染症
- 23 区の情報発信

令和4年9月



世田谷区

今回の調査項目は次のとおりです。このうち★印のある項目をこの概要版に掲載しています。

1. 定住性

- (1) 居住年数
- ★ (2) 暮らしの満足度
- ★ (3) 住みやすさ
- ★ (4) 定住意向
- (5) 定住意向理由
- (6) 非定住意向理由
- ★ (7) 地域における日常生活での困りごと

2 区政

- ★ (1) 区が積極的に取り組むべき事業

3 区の基本計画

- (1) 基本計画の「6つの重点政策」の中で取り組みが進展したもの
- ★ (2) 次期基本計画で期待する取り組み
- (3) 区政への参加や地域で活動する際、区に期待する取り組み

4 職員対応

- ★ (1) 窓口対応
- ★ (2) 印象が良かった点
- ★ (3) 印象が悪かった点
- ★ (4) 職員対応での注意点

5. ふるさと納税

- ★ (1) 「ふるさと納税」の経験
- (2) 「ふるさと納税」をした理由
- (3) 「ふるさと納税」をしない理由
- ★ (4) 「ふるさと納税」による区民税の減収額の認知度

6. 福祉と医療

- ★ (1) 「福祉の相談窓口」の認知度
- (2) 介護や医療必要時の居留意向
- ★ (3) 「在宅医療」の認知度
- ★ (4) 「ACP」(アドバンス・ケア・プランニング：人生会議)の認知度
- ★ (5) 人生の最終段階に関する話し合いについて

7 認知症

- ★ (1) 「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」の認知度
- (2) 認知症についての印象
- (3) 認知症になった場合の暮らし方
- ★ (4) 認知症になっても暮らしやすくするための活動

8 悩みや不安の相談先

- ★ (1) 相談できる医療機関や行政窓口の認知度
- (2) 悩みや不安の相談先

9 障害者を支える取組み

- ★ (1) 障害者差別解消法の認知度
- ★ (2) 共生社会ホストタウンの認知度

10 子育て・子どもを取り巻く環境

- ★ (1) 区の子育て環境
- (2) 子育てについて相談できる人の有無
- (3) 「世田谷版ネウボラ」の認知度
- (4) 子どもの外遊びへの大人の関わりについて

11 地域コミュニティ

- ★ (1) 地域活動への参加経験・参加意向
- (2) 参加している地域団体
- (3) 参加している地域活動の種類
- (4) 町会・自治会への加入状況
- (5) 町会・自治会に加入しない理由
- (6) 町会・自治会に期待するもの

12 公共施設

- ★ (1) 区民利用施設の利用頻度
- (2) 区民利用施設を利用していない理由

13 災害時の備え

- (1) 防災への対処
- (2) 水や食料の備蓄について
- ★ (3) 地区防災計画の認知度
- ★ (4) ハザードマップの認知度
- (5) ハザードマップの活用状況

14 男女共同参画の推進

- ★ (1) 「男は仕事、女は家庭」という考え方について
- (2) 「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」の認知度
- ★ (3) 「ドメスティック・バイオレンス」に対する考え方
- (4) DV被害にあったときの相談先
- (5) 性的マイノリティという言葉の認知度

15 多文化共生

- ★ (1) 区の多文化共生社会の実現に向けた施策の充実度

16 文化活動

- ★ (1) 区内の文化資源の認知度
- (2) 区内の文化資源環境への満足度

17 スポーツ

- ★ (1) この1年間に行ったスポーツや運動の回数
- (2) 新型コロナウイルス感染拡大に伴うスポーツ実施環境の変化
- (3) 今後のスポーツ施設整備について

18 たばこマナー

- ★ (1) 居住地域におけるたばこマナーの満足度

19 農業

- ★ (1) 農業公園の認知度

20 公園

- ★ (1) 公園拡張事業の認知度

21 区道の舗装

- ★ (1) 舗装に関する満足度
- (2) 舗装状態が悪い理由

22 新型コロナウイルス感染症

- ★ (1) 新型コロナウイルス感染拡大による仕事や生活への影響
- (2) 新型コロナウイルス感染拡大に伴うコミュニケーションの機会について

23 区の情報発信

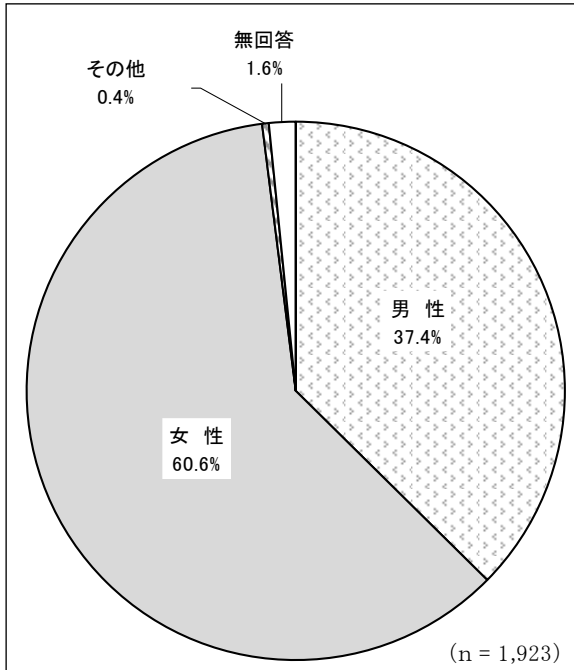
- ★ (1) 区の新型コロナウイルス感染症に関する情報の入手先
- (2) 情報を入手しやすいデジタル媒体
- (3) 新型コロナウイルスのワクチン接種予約申し込み支援の認知度
- (4) スマートフォンの活用状況

グラフの見方

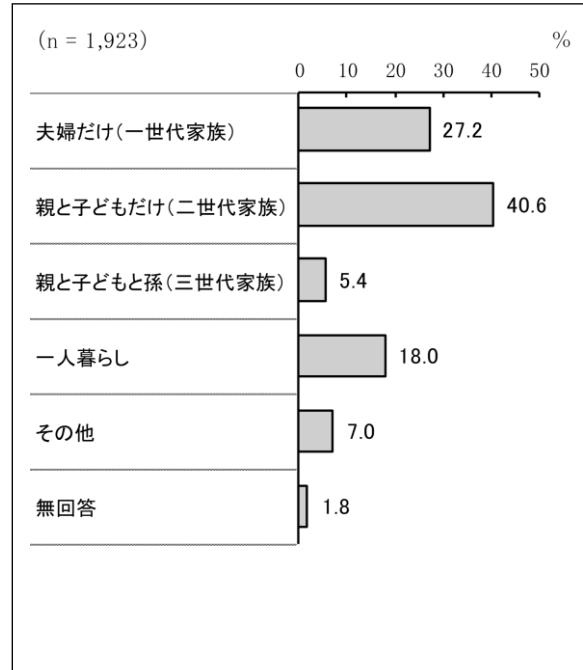
- 1 (複数回答) と記述されたもの以外は、選択肢を1つだけ選ぶ設問です。
- 2 小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならないものがあります。
- 3 複数回答の設問については、合計が100.0%を超えることがあります。
- 4 グラフ中のnは、設問の回答者数を表します。

回答者の属性

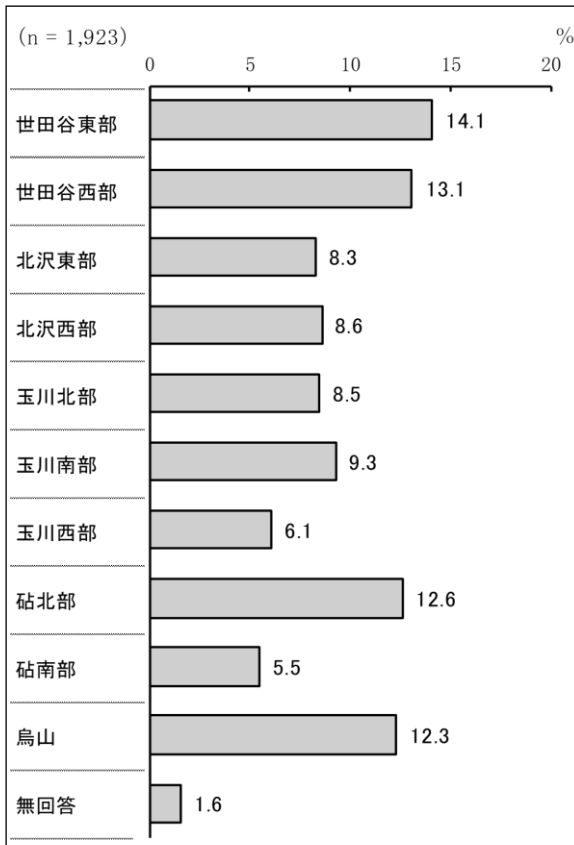
(1) 性別



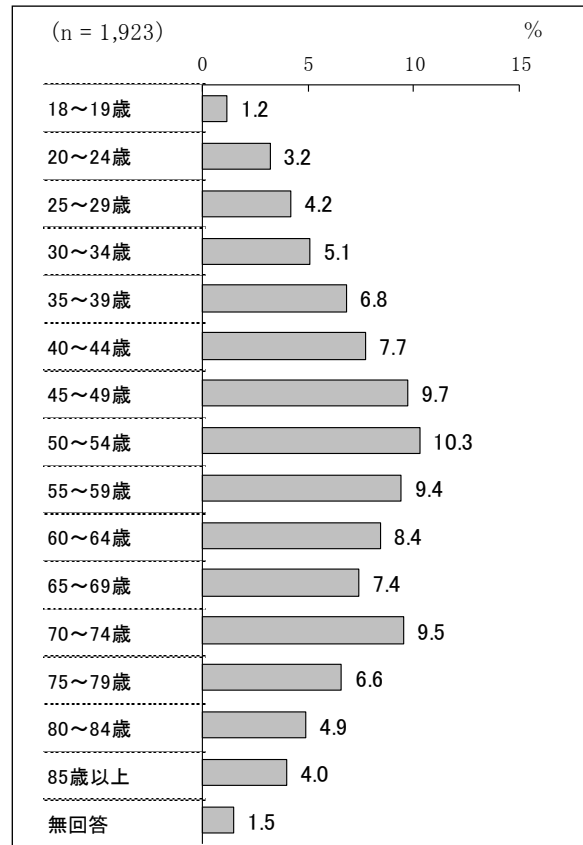
(2) 家族構成



(3) 居住地区



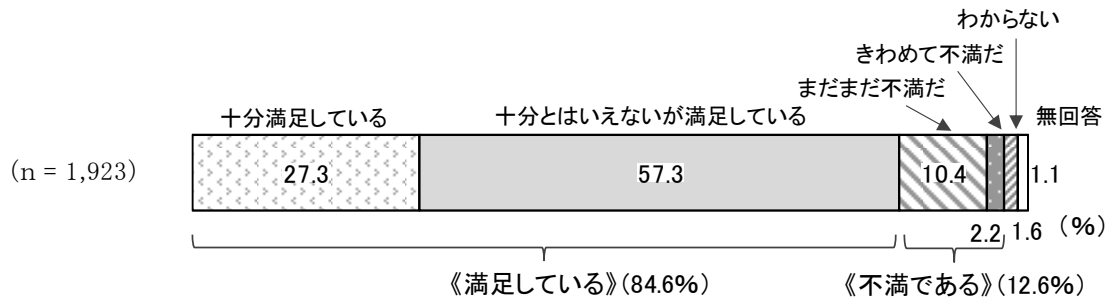
(4) 年齢



1. 定住性

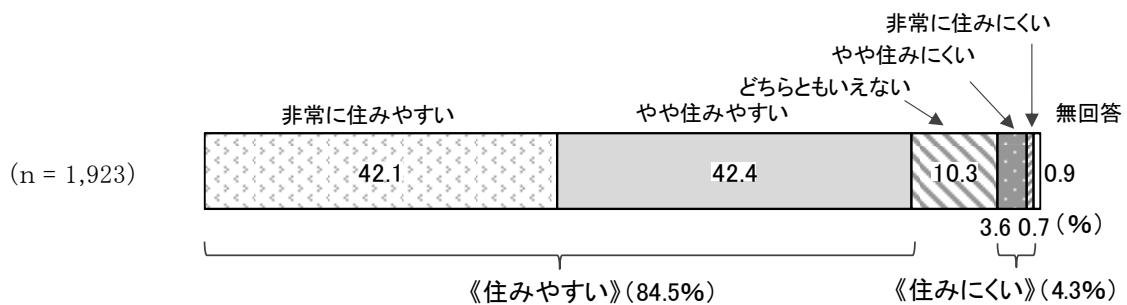
●暮らしの満足度

現在の暮らしについて、《満足している》と感じている方は84.6%となっています。



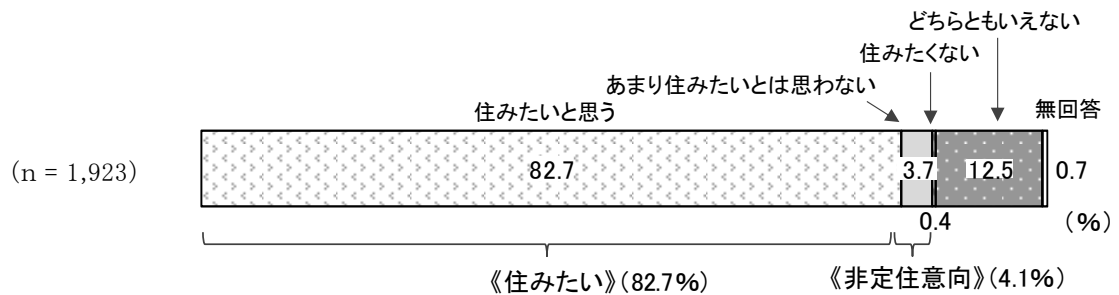
●住みやすさ

《住みやすい》と感じている方は84.5%となっています。



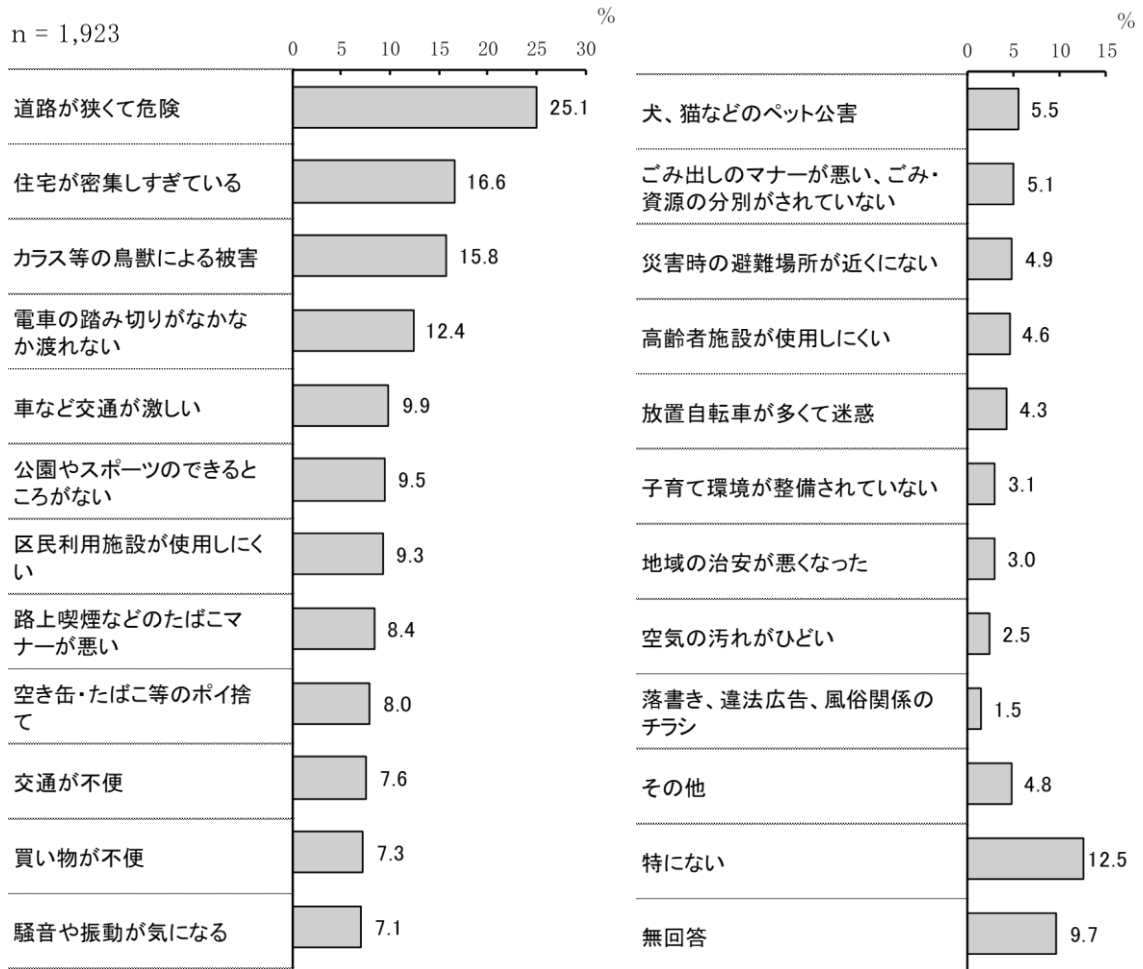
●定住意向

今後も世田谷区に「住みたいと思う」方は82.7%となっています。



●地域における日常生活での困りごと（複数回答）

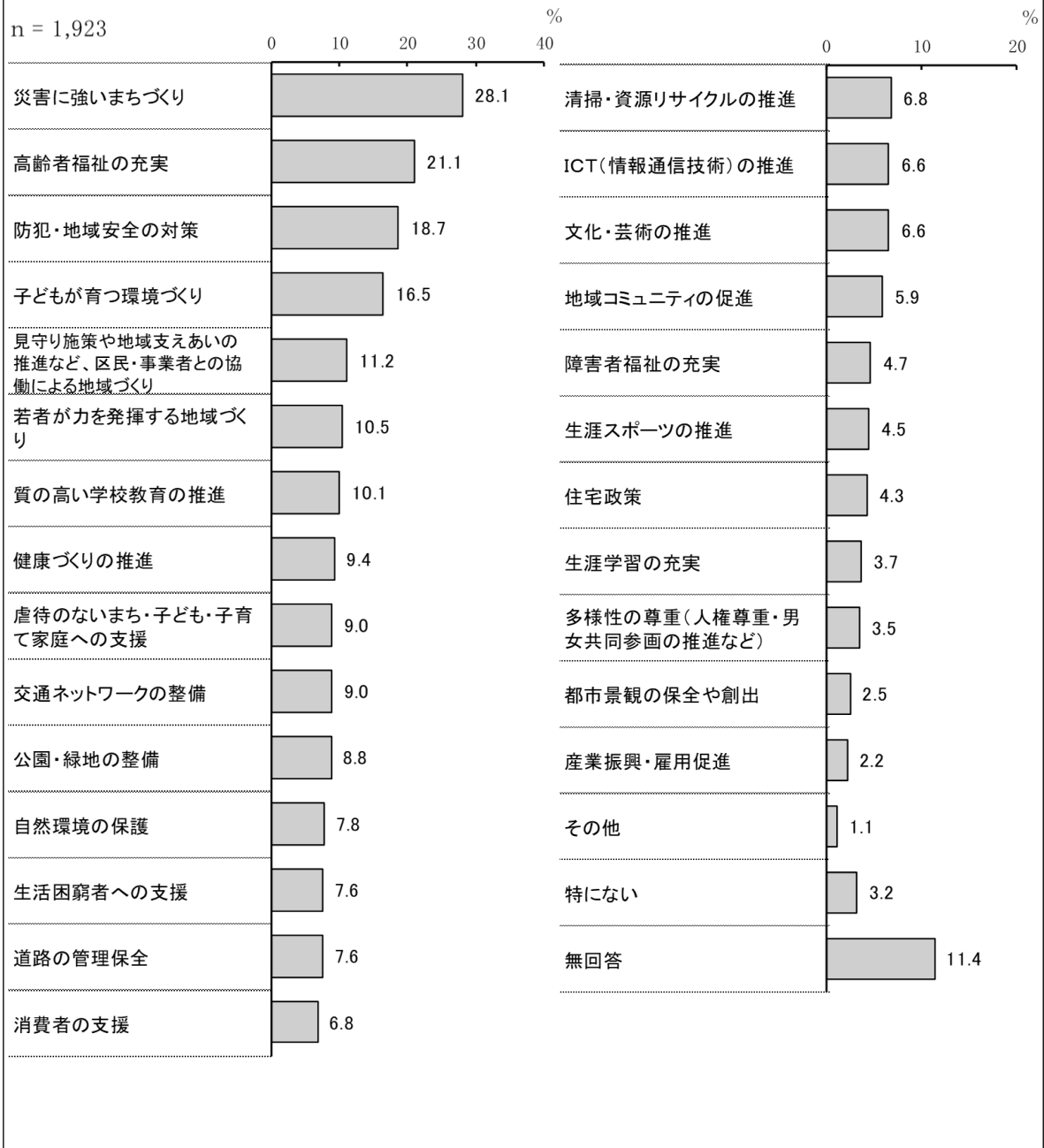
「道路が狭くて危険」が25.1%で最も高く、以下、「住宅が密集しすぎている」、「カラス等の鳥獣による被害」などと続いています。



2. 区政

●区が積極的に取り組むべき事業（複数回答）

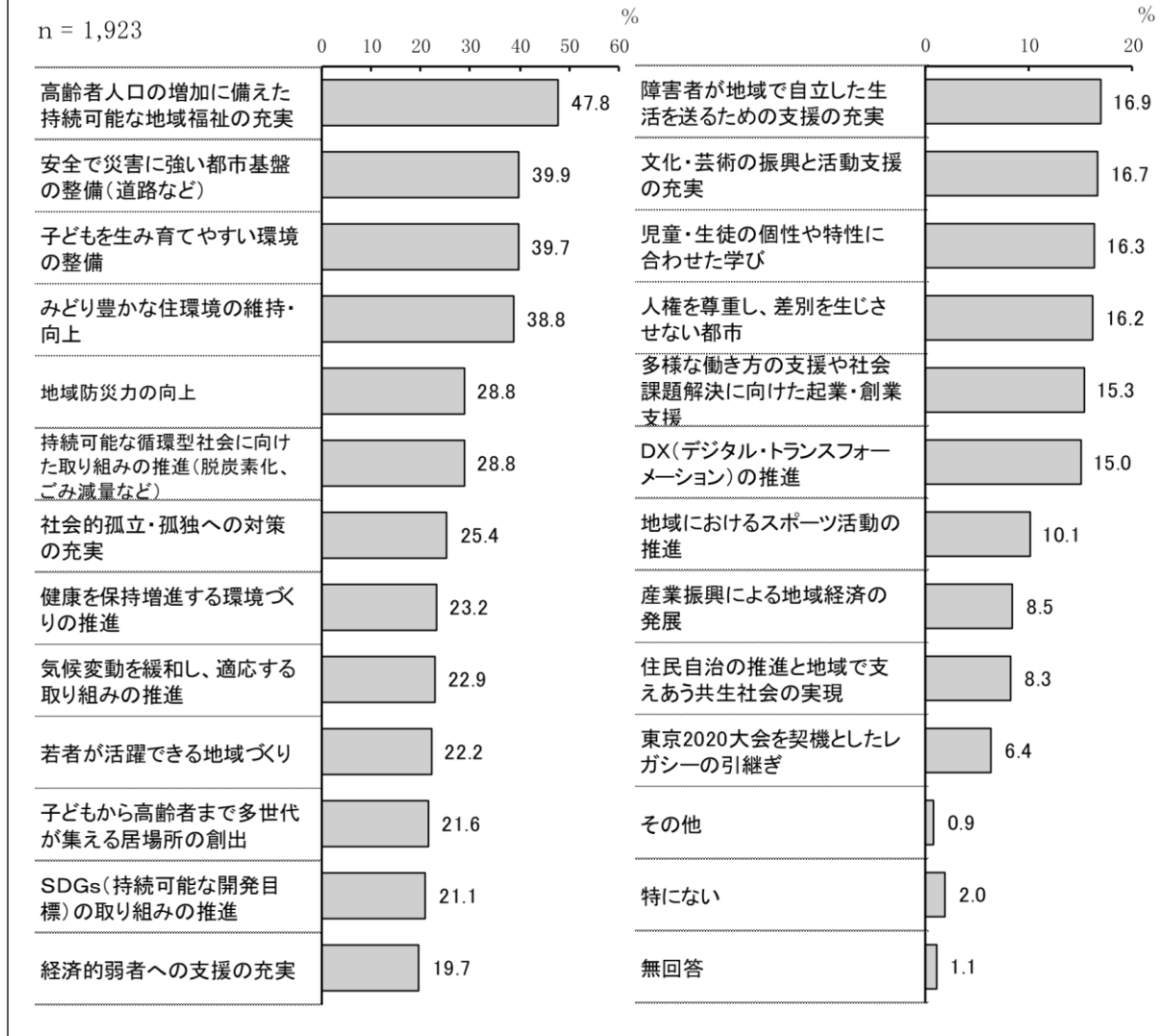
「災害に強いまちづくり」が28.1%で最も高く、以下、「高齢者福祉の充実」、「防犯・地域安全の対策」などと続いています。



3. 区の基本計画

●次期基本計画で期待する取り組み（複数回答）

「高齢者人口の増加に備えた持続可能な地域福祉の充実」が47.8%で最も高く、以下、「安全で災害に強い都市基盤の整備（道路など）」、「子どもを生き育てやすい環境の整備」、「みどり豊かな住環境の維持・向上」などと続いています。

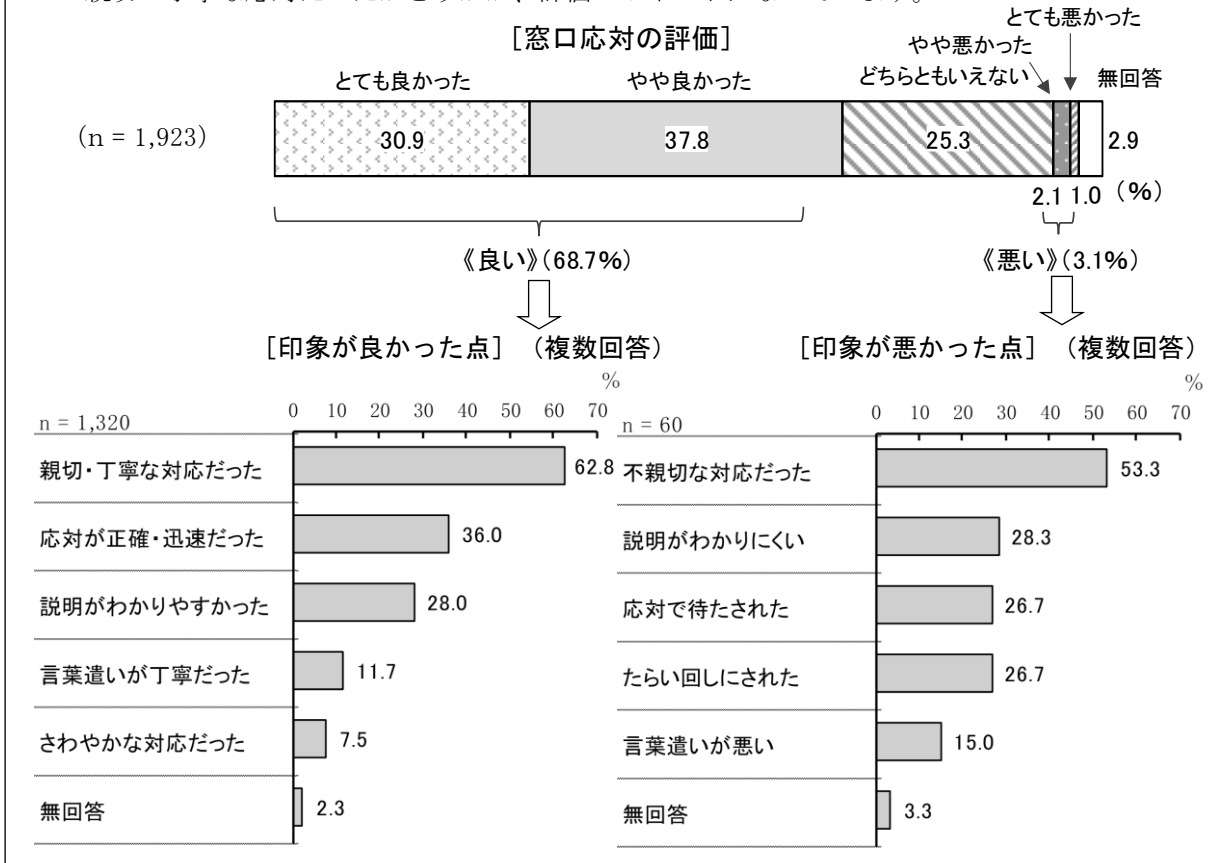


4. 職員応対

●窓口対応の評価と印象が良かった点・悪かった点

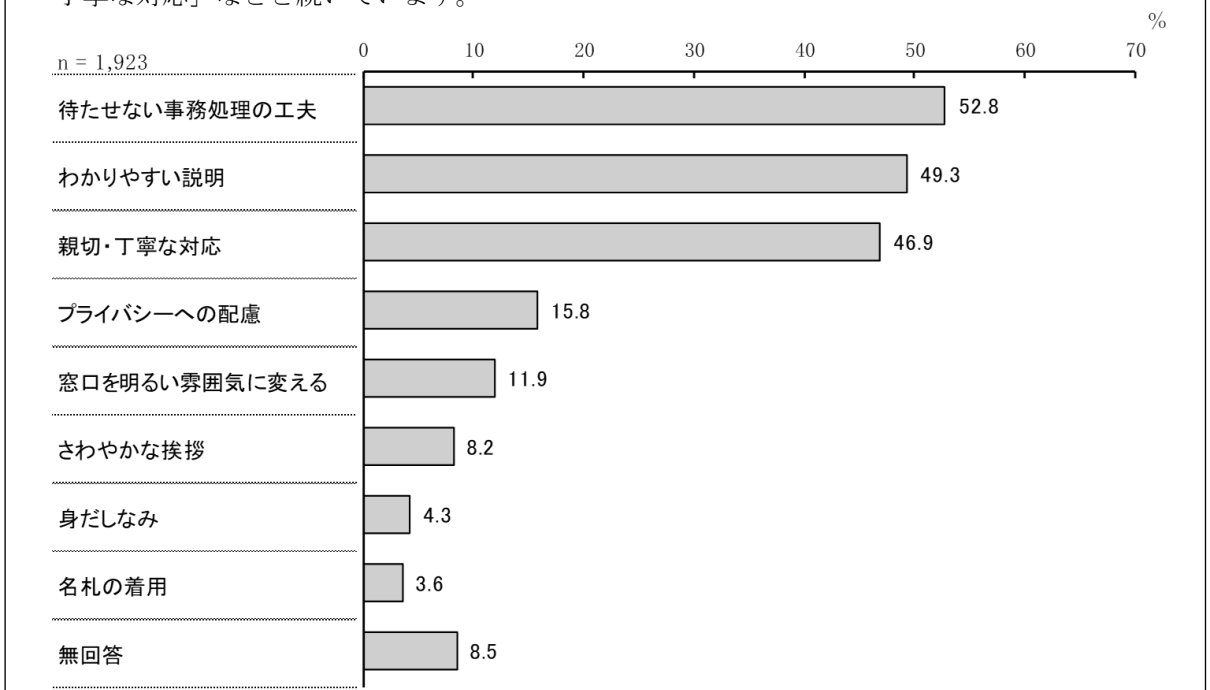
窓口対応は68.7%の方が《良い》と感じています。

親切・丁寧な対応だったかどうか、評価のポイントになっています。



●職員応対での注意点 (複数回答)

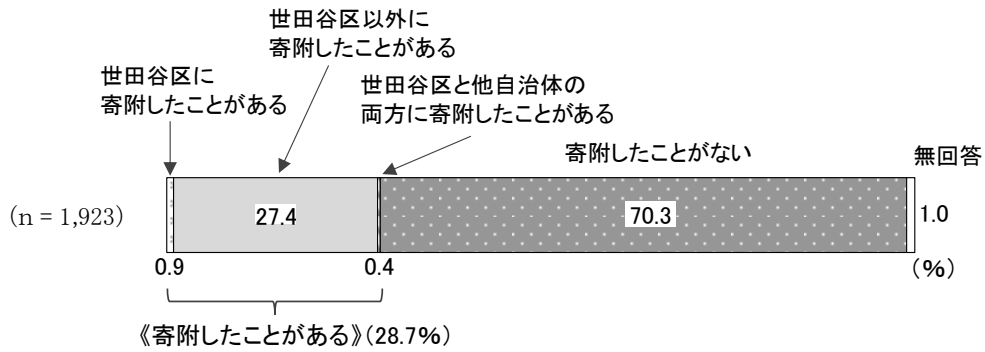
「待たせない事務処理の工夫」が52.8%と最も高く、以下、「わかりやすい説明」、「親切・丁寧な対応」などと続いています。



5. ふるさと納税

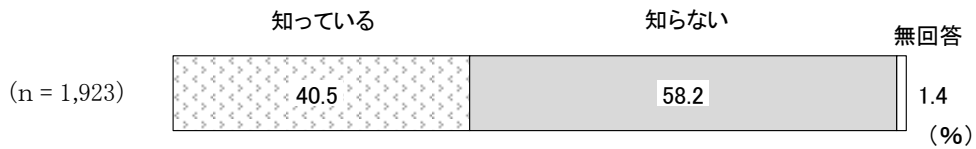
● 「ふるさと納税」の経験

「ふるさと納税」の経験については、《寄附したことがある》人は28.7%となっていますが、その多くは「世田谷区以外に寄附したことがある」人で、世田谷区に寄附したことがある人は1.3%となっています。



● 「ふるさと納税」による区民税の減収額の認知度

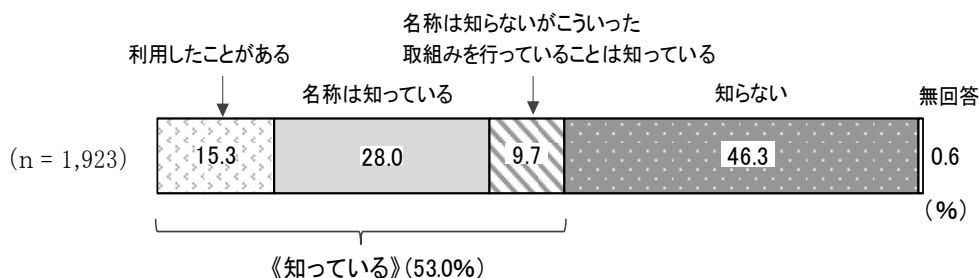
「ふるさと納税」による区民税の減収額の認知度については、「知っている」が40.5%、「知らない」が58.2%となっています。



6. 福祉と医療

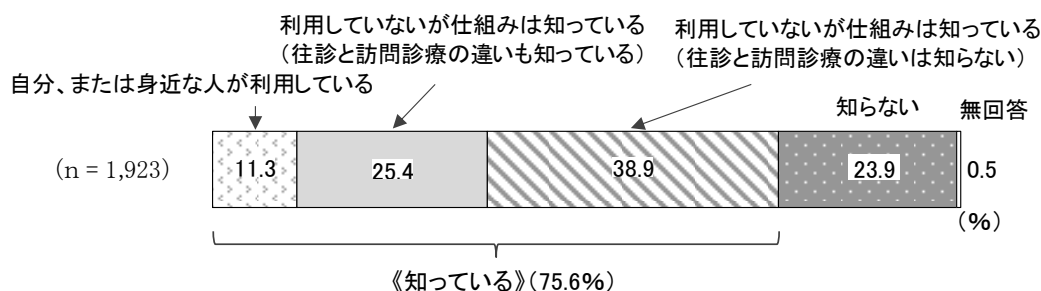
● 「福祉の相談窓口」の認知度

「福祉の相談窓口」の認知度を聞いたところ、「名称は知っている」(28.0%)、「利用したことがある」(15.3%)、「名称は知らないがこういった取り組みを行っていることは知っている」(9.7%)を合わせた《知っている》が53.0%、「知らない」が46.3%となっています。



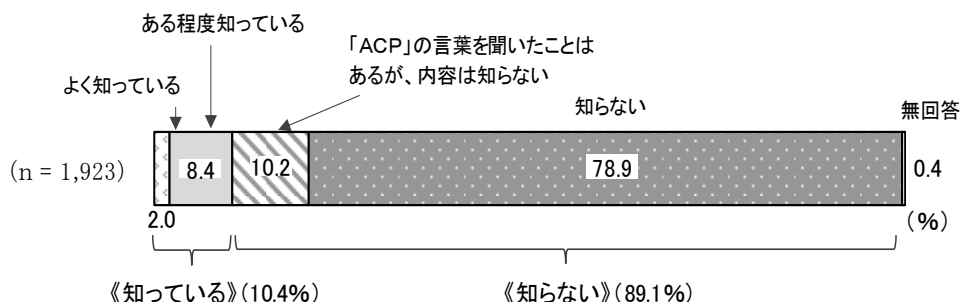
● 「在宅医療」の認知度

「在宅医療」の認知度を聞いたところ、「利用していないが仕組みは知っている(往診と訪問診療の違いは知らない)」(38.9%)、「利用していないが仕組みは知っている(往診と訪問診療の違いも知っている)」(25.4%)、「自分、または身近な人が利用している」(11.3%)を合わせた《知っている》が75.6%、「知らない」が23.9%となっています。



● 「ACP」(アドバンス・ケア・プランニング：人生会議)の認知度

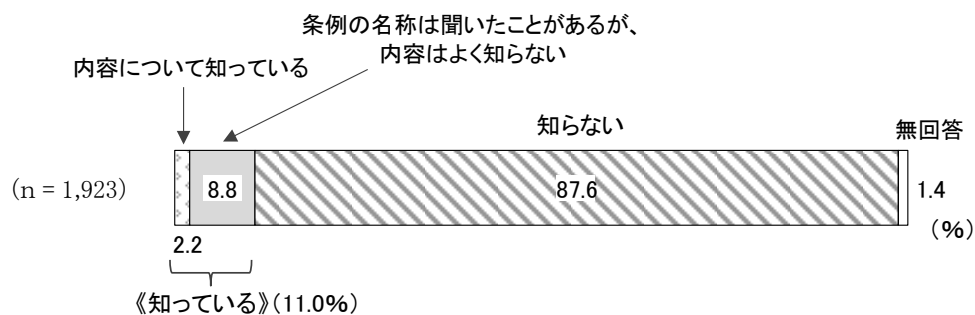
「ACP」(アドバンス・ケア・プランニング：人生会議)の認知度を聞いたところ、「ある程度知っている」(8.4%)、「よく知っている」(2.0%)を合わせた《知っている》が10.4%、「「ACP」の言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない」(10.2%)、「知らない」(78.9%)を合わせた《知らない》が89.1%となっています。



7. 認知症

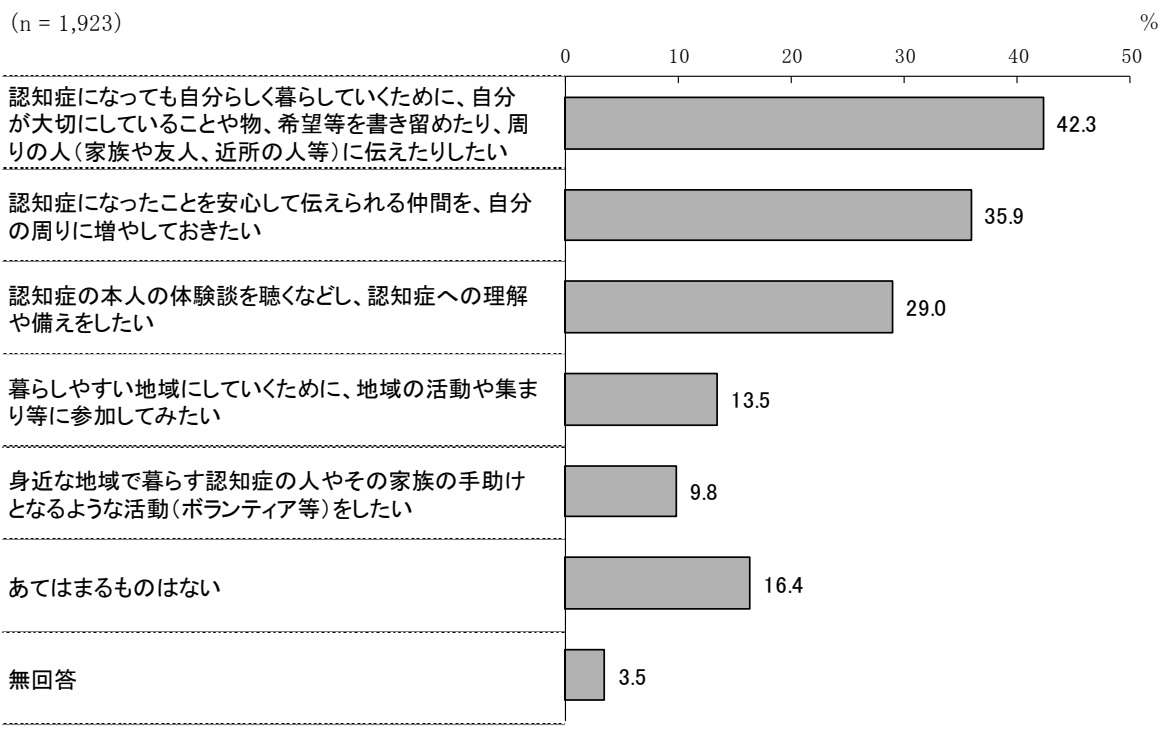
●「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」の認知度

「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」の認知度を聞いたところ、「条例の名称は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」(8.8%)、「内容について知っている」(2.2%)を合わせた《知っている》が11.0%、「知らない」が87.6%となっています。



●認知症になっても暮らしやすくするための活動

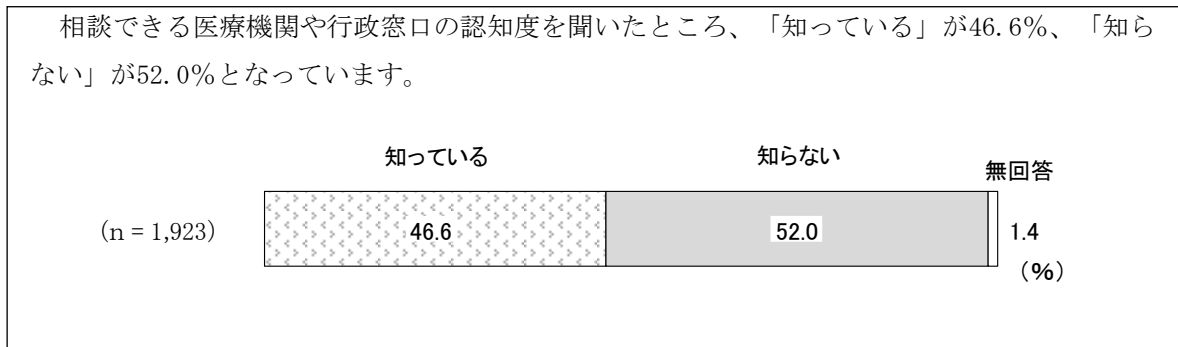
認知症になっても暮らしやすくするための活動を聞いたところ、「認知症になっても自分らしく暮らしていくために、自分が大切にしていることや物、希望等を書き留めたり、周りの人(家族や友人、近所の人等)に伝えたい」が42.3%と最も高く、「認知症になったことを安心して伝えられる仲間を、自分の周りに増やしておきたい」、「認知症の本人の体験談を聴くなどし、認知症への理解や備えをしたい」などと続いています。



8. 悩みや不安の相談先

●相談できる医療機関や行政窓口の認知度

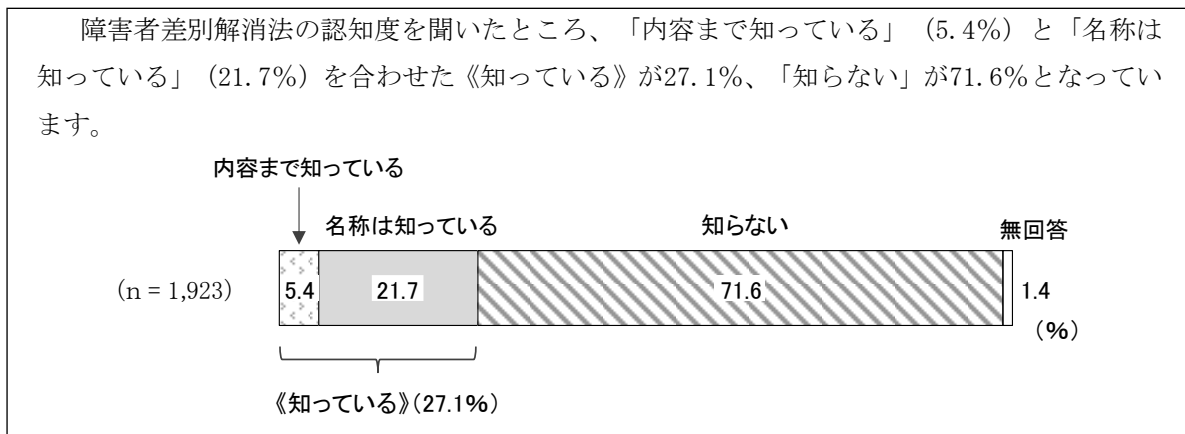
相談できる医療機関や行政窓口の認知度を聞いたところ、「知っている」が46.6%、「知らない」が52.0%となっています。



9. 障害者を支える取り組み

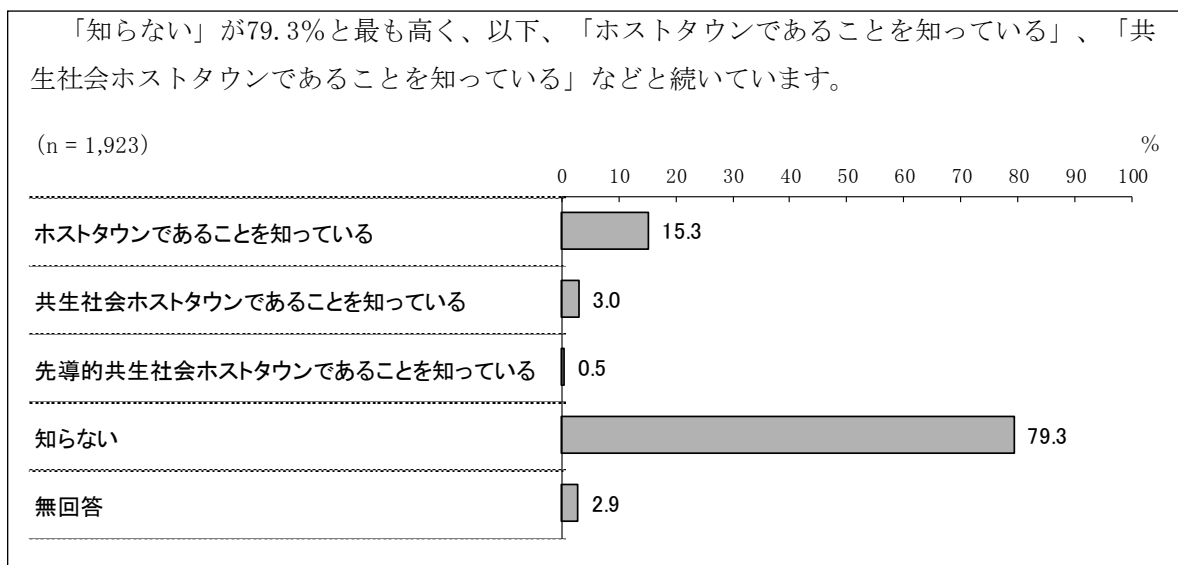
●障害者差別解消法の認知度

障害者差別解消法の認知度を聞いたところ、「内容まで知っている」(5.4%)と「名称は知っている」(21.7%)を合わせた《知っている》が27.1%、「知らない」が71.6%となっています。



●共生社会ホストタウンの認知度（複数回答）

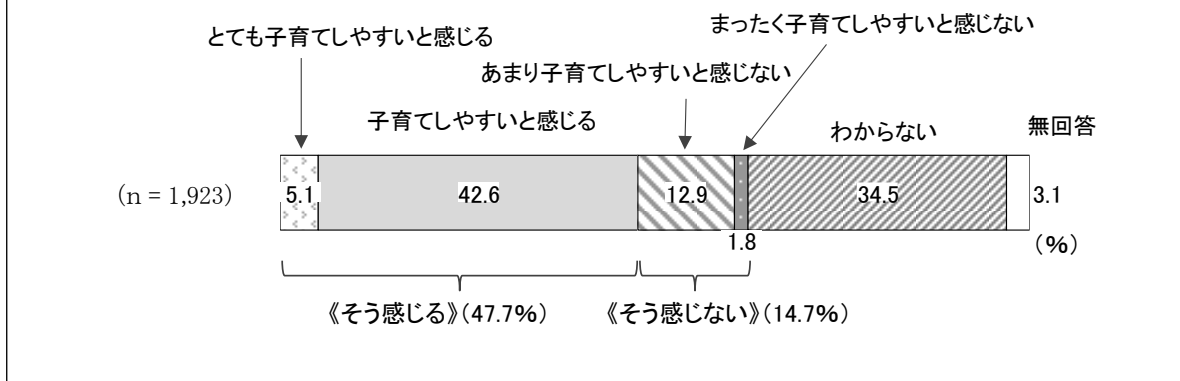
「知らない」が79.3%と最も高く、以下、「ホストタウンであることを知っている」、「共生社会ホストタウンであることを知っている」などと続いています。



10. 子育て・子どもを取り巻く環境

●区の子育て環境

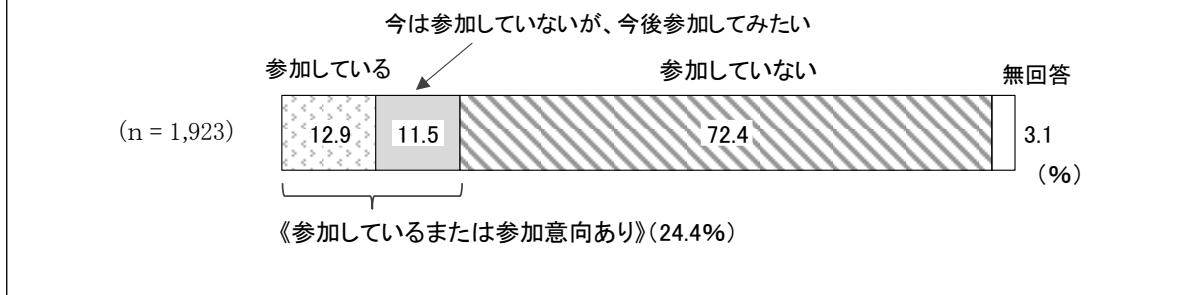
世田谷区の子育て環境について聞いたところ、「とても子育てしやすいと感じる」(5.1%)と「子育てしやすいと感じる」(42.6%)を合わせた《そう感じる》が47.7%、「あまり子育てしやすいと感じない」(12.9%)と「まったく子育てしやすいと感じない」(1.8%)を合わせた《そう感じない》が14.7%となっています。



11. 地域コミュニティ

●地域活動への参加経験・参加意向

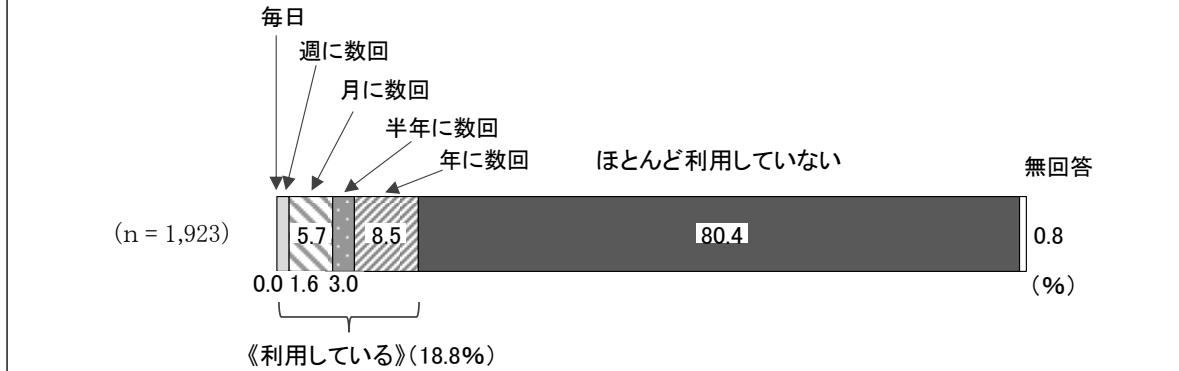
身近な地域の活動に参加しているかどうかを聞いたところ、「参加している」(12.9%)と「今は参加していないが、今後参加してみたい」(11.5%)を合わせた《参加しているまたは参加意向あり》が24.4%となっています。「参加していない」が72.4%となっています。



12. 公共施設

●区民利用施設の利用頻度

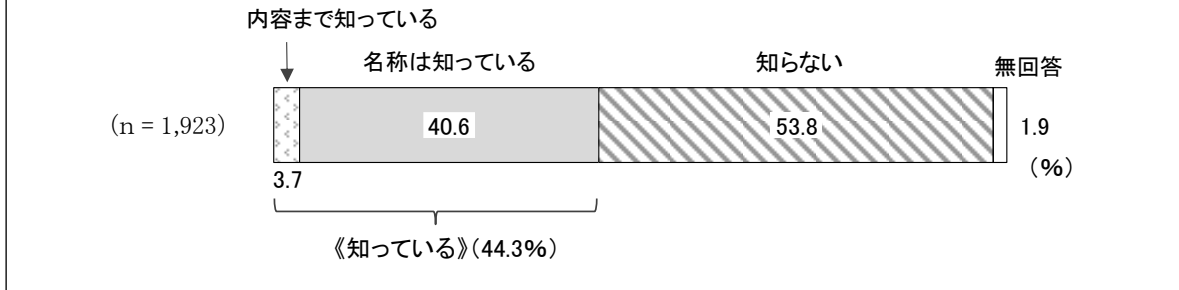
区民利用施設（地区会館や区民集会所）の利用頻度を聞いたところ、「毎日」（0.0%）、「週に数回」（1.6%）、「月に数回」（5.7%）、「半年に数回」（3.0%）、「年に数回」（8.5%）を合わせた《利用している》が18.8%、「ほとんど利用していない」が80.4%となっています。



13. 災害時の備え

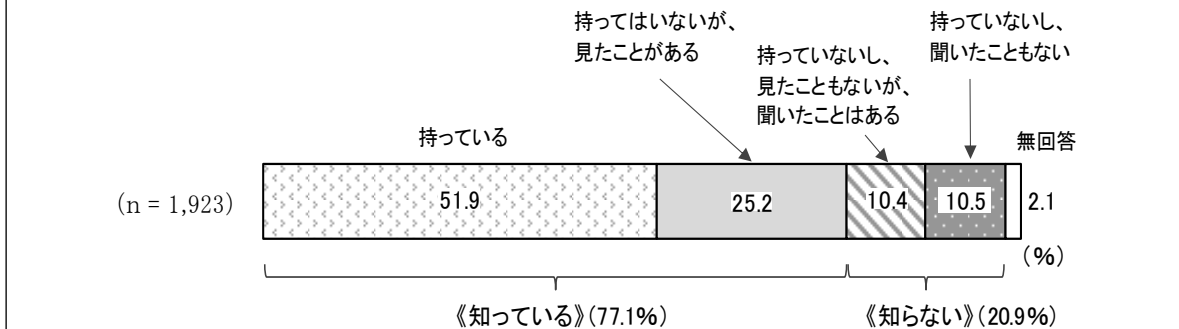
●地区防災計画の認知度

地区防災計画の認知度を聞いたところ、「名称は知っている」（40.6%）と「内容まで知っている」（3.7%）を合わせた《知っている》が44.3%、「知らない」が53.8%となっています。



●ハザードマップの認知度

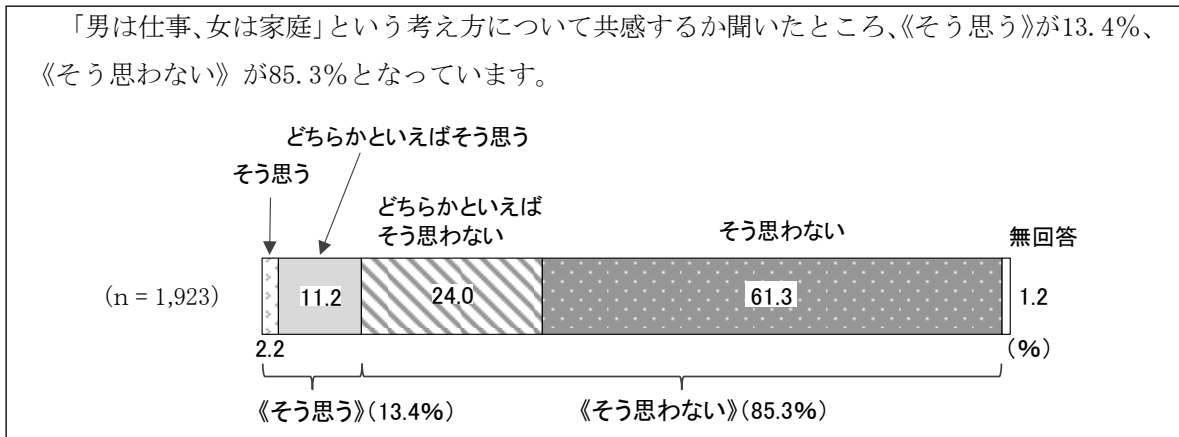
ハザードマップの認知度を聞いたところ、「持っている」（51.9%）と「持ってはいないが、見たことがある」（25.2%）を合わせた《知っている》が77.1%、「持っていないし、見たこともないが、聞いたことはある」（10.4%）と「持っていないし、聞いたこともない」（10.5%）をあわせた《知らない》が20.9%となっています。



14. 男女共同参画の推進

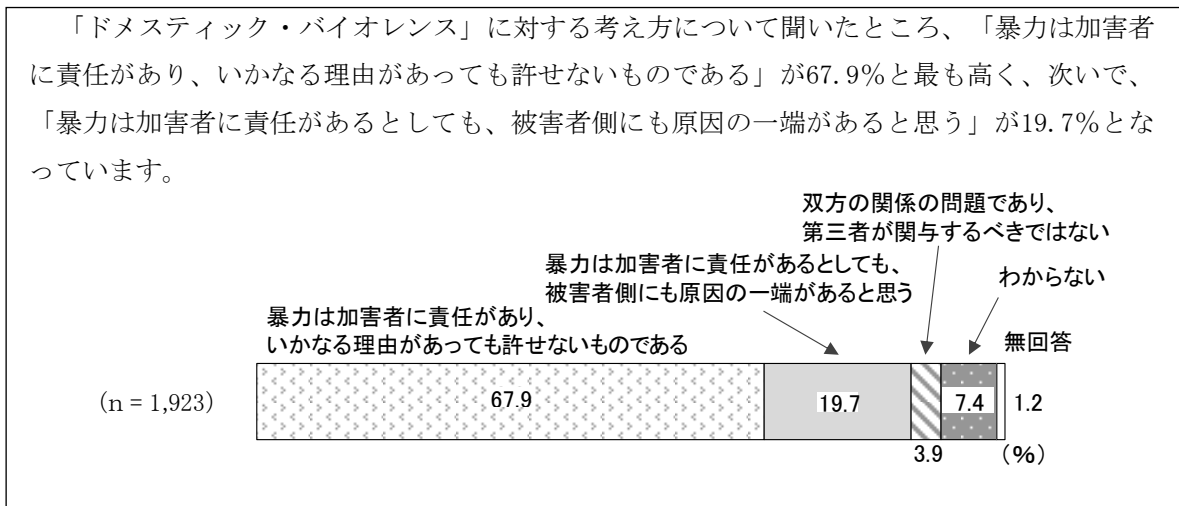
● 「男は仕事、女は家庭」という考え方について

「男は仕事、女は家庭」という考え方について共感するか聞いたところ、《そう思う》が13.4%、《そう思わない》が85.3%となっています。



● 「ドメスティック・バイオレンス」に対する考え方

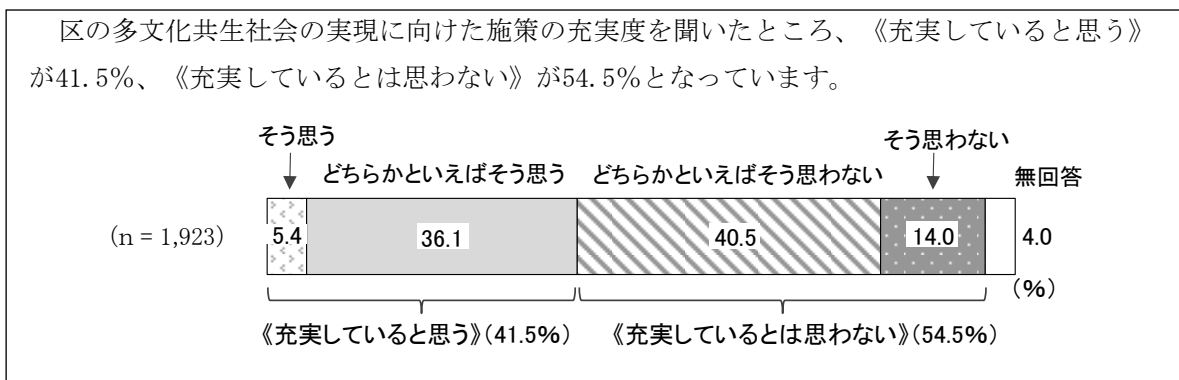
「ドメスティック・バイオレンス」に対する考え方について聞いたところ、「暴力は加害者に責任があり、いかなる理由があっても許せないものである」が67.9%と最も高く、次いで、「暴力は加害者に責任があるとしても、被害者側にも原因の一端があると思う」が19.7%となっています。



15. 多文化共生

● 区の多文化共生社会の実現に向けた施策の充実度

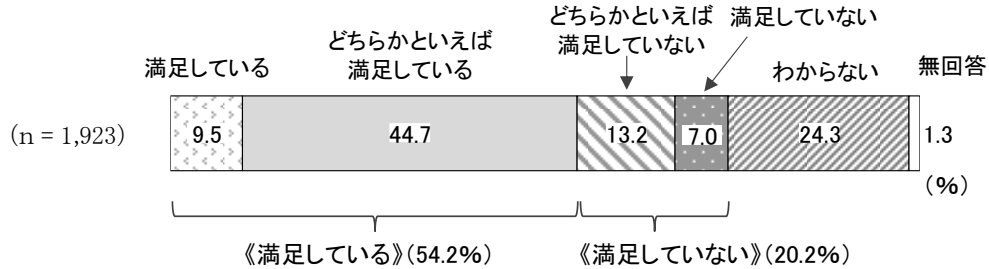
区の多文化共生社会の実現に向けた施策の充実度を聞いたところ、《充実していると思う》が41.5%、《充実しているとは思わない》が54.5%となっています。



16. 文化活動

●区内の文化資源環境への満足度

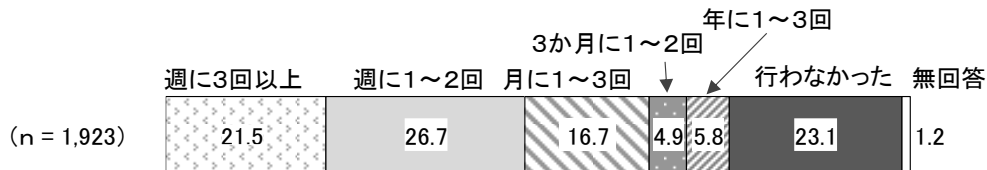
区内の文化資源環境への満足度を聞いたところ、《満足している》が54.2%、《満足していない》が20.2%となっています。



17. スポーツ

●この1年間に行ったスポーツや運動の回数

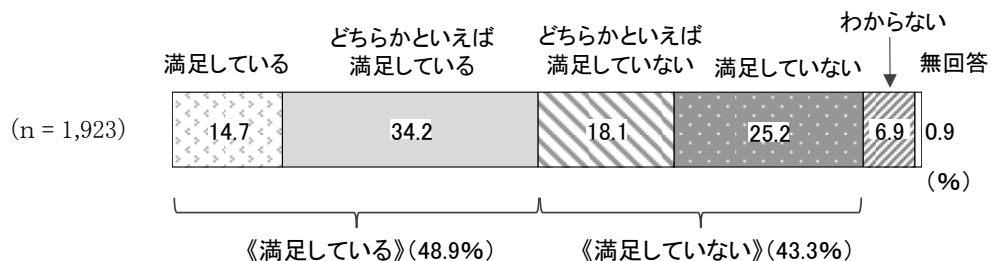
この1年間に行ったスポーツや運動の回数を聞いたところ、「週に1～2回」が26.7%で最も高く、以下、「週に3回以上」、「月に1～3回」などと続いています。



18. たばこマナー

●居住地域におけるたばこマナーの満足度

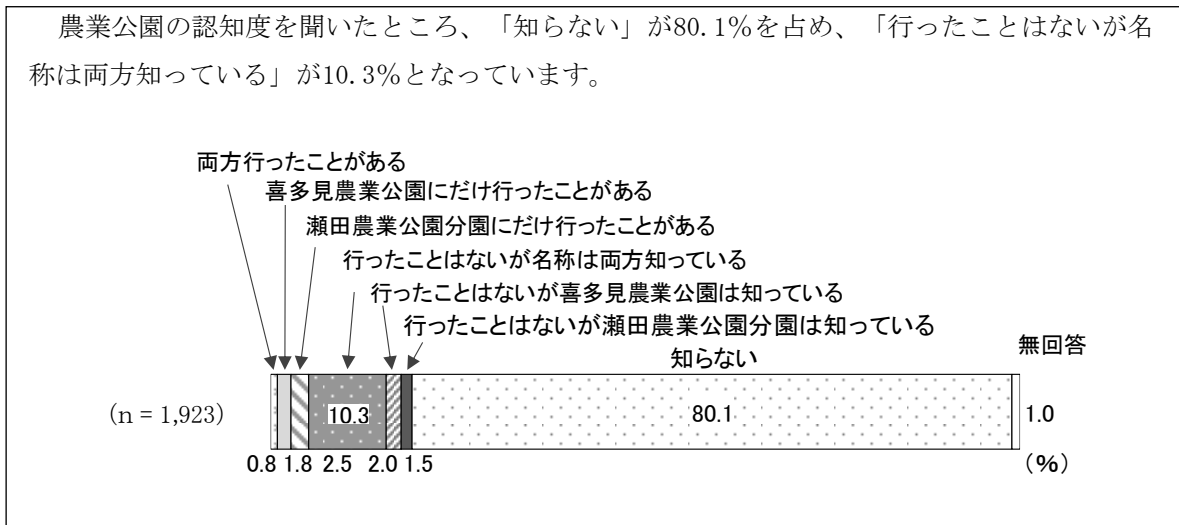
居住地域におけるたばこマナーの満足度を聞いたところ、《満足していない》が43.3%、《満足している》が48.9%となっています。



19. 農業

●農業公園の認知度

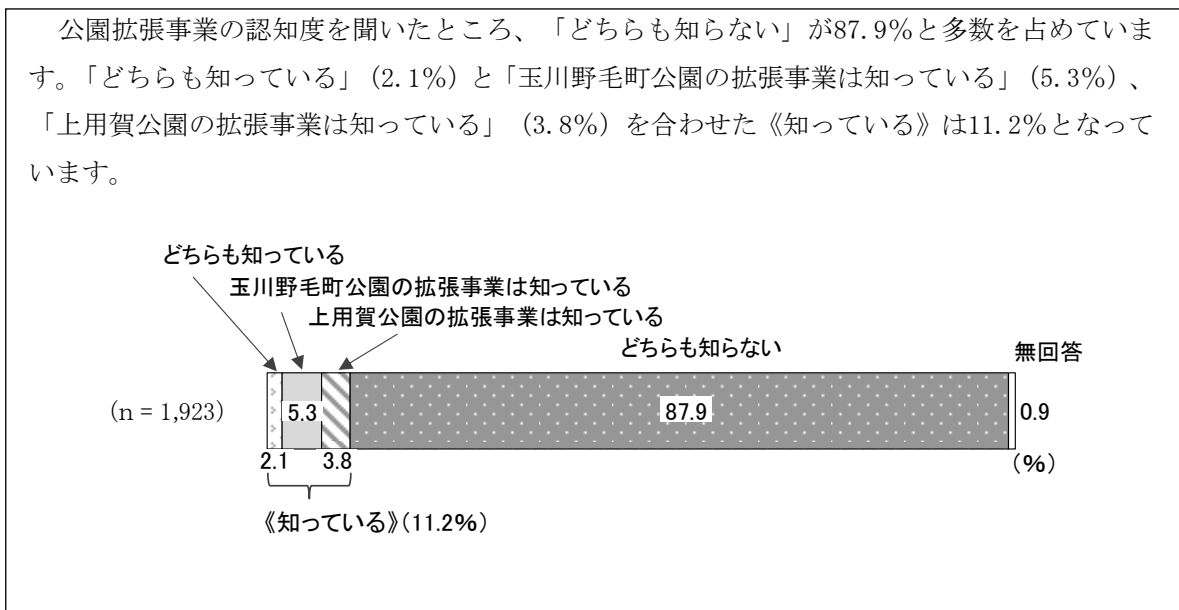
農業公園の認知度を聞いたところ、「知らない」が80.1%を占め、「行ったことはないが名称は両方知っている」が10.3%となっています。



20. 公園

●公園拡張事業の認知度

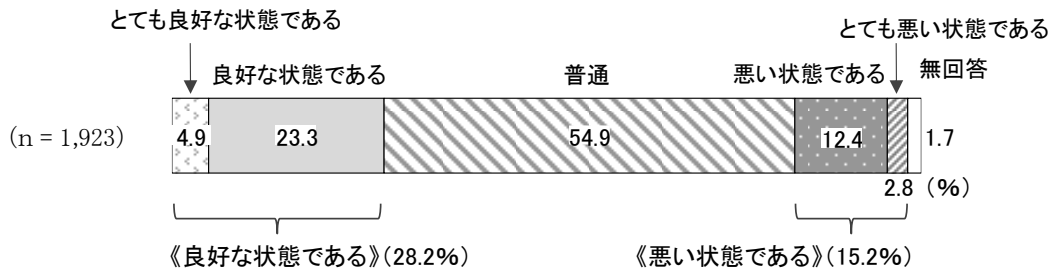
公園拡張事業の認知度を聞いたところ、「どちらも知らない」が87.9%と多数を占めています。「どちらも知っている」(2.1%)と「玉川野毛町公園の拡張事業は知っている」(5.3%)、「上用賀公園の拡張事業は知っている」(3.8%)を合わせた《知っている》は11.2%となっています。



21. 区道の舗装

●舗装に関する満足度

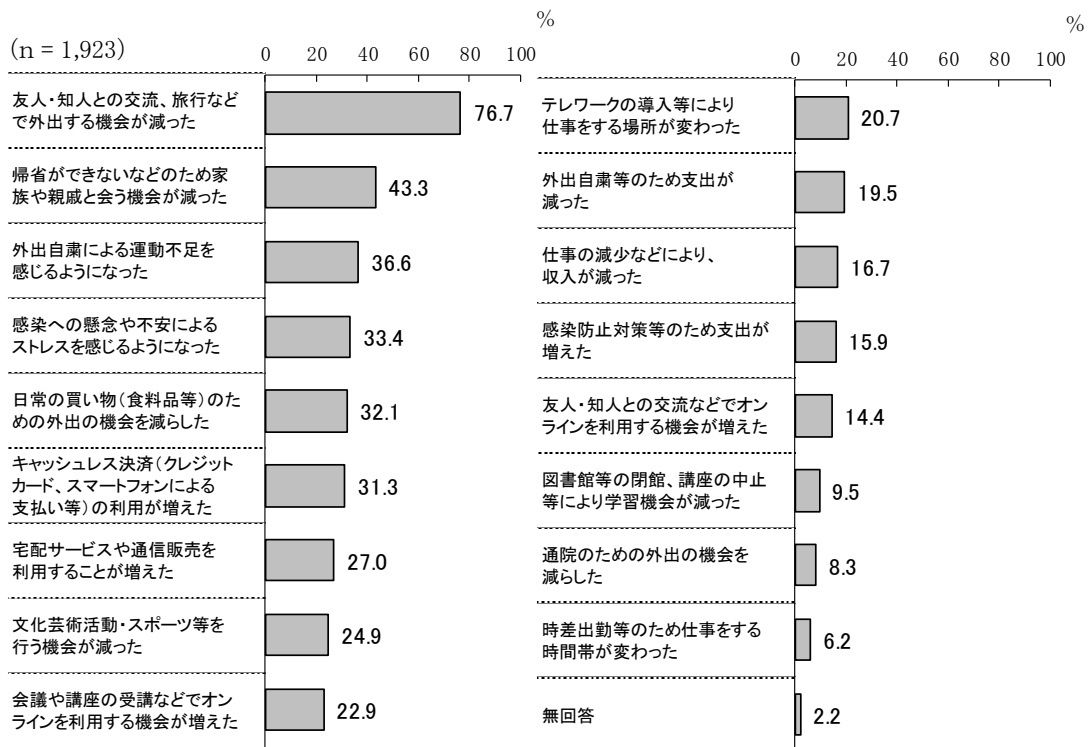
舗装に関する満足度を聞いたところ、《良好な状態である》が28.2%、「普通」が54.9%、《悪い状態である》が15.2%となっています。



22. 新型コロナウイルス感染症

●新型コロナウイルス感染拡大による仕事や生活への影響（複数回答）

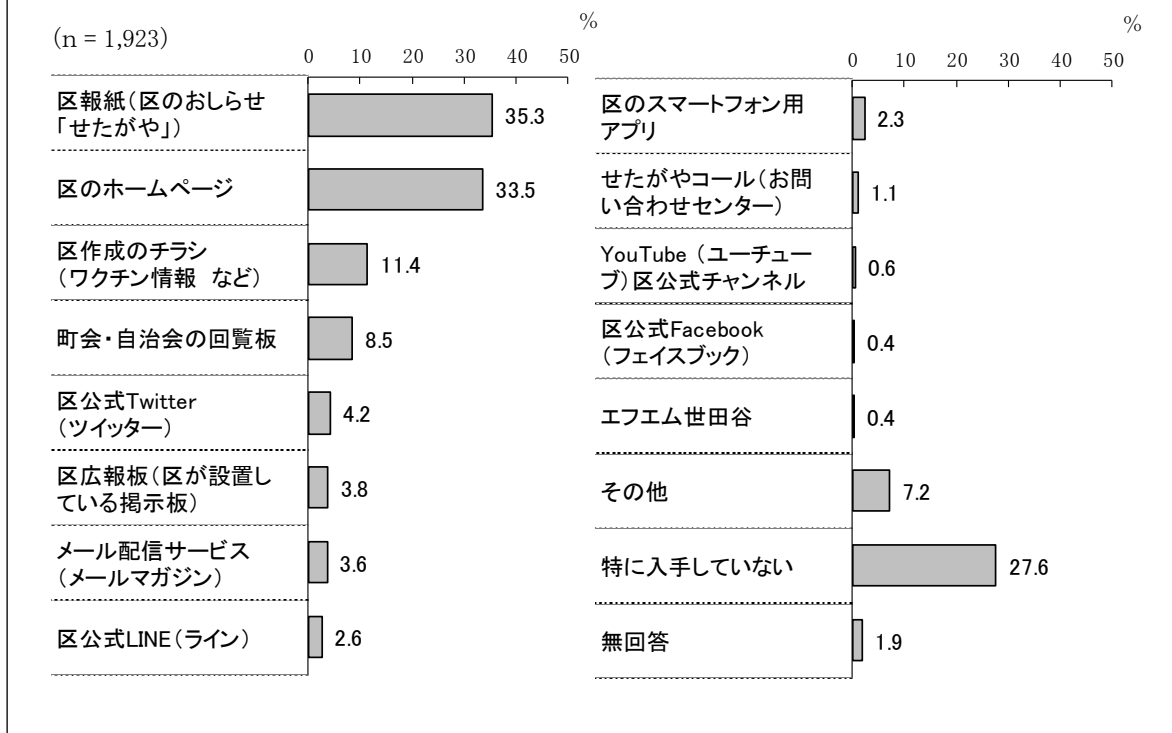
新型コロナウイルス感染拡大による仕事や生活への影響は、「友人・知人との交流、旅行などで外出する機会が減った」が76.7%で最も高く、以下、「帰省ができないなどのため家族や親戚と会う機会が減った」、「外出自粛による運動不足を感じるようになった」、「感染への懸念や不安によるストレスを感じるようになった」、「日常の買い物（食料品等）のための外出の機会を減らした」、「キャッシュレス決済（クレジットカード、スマートフォンによる支払い等）の利用が増えた」などと続いています。



23. 区の情報発信

●区の新型コロナウイルス感染症に関する情報の入手先（複数回答）

区の新型コロナウイルス感染症に関する情報の入手先は、「区報紙（区のおしらせ「せたがや）」が35.3%で最も高く、以下、「区のホームページ」、「区作成のチラシ（ワクチン情報など）」などと続いています。



世田谷区民意識調査2022（概要版）

令和4年9月発行（広報印刷物登録番号 No. 2095）

発行 世田谷区政策経営部広報広聴課
 東京都世田谷区世田谷4丁目21番27号
 電話：03（5432）2014
 ファクシミリ：03（5432）3001

実施 株式会社名豊
 愛知県名古屋市中区松原2丁目2番33号
 電話：052（322）0071（代表）
 ファクシミリ：052（322）0130